

吉田町人権推進啓発町民会議 研修会アンケート集約

2017年6月12日(月) 14:14～(90分間)

演題「今ごろの子ども・若者を支える」

～発達障害ってな～あに?～

講師 つどい・さんあい 代表 福間玄猷さん(源光寺住職)

アンケート回答(N=42) 最小値1 最大値5

項目		合計	平均
(1)-①	講義の分りやすさ	181	4.3
(1)-②	共感しやすいか	181	4.3
(1)-③	資料の見やすさ	169	4.0
(1)-④	全体的に	182	4.3
		713	16.98

印象に残った言葉など

- お互いさまはだれでもありますが、障害者と別にしないこと。
- 今までが発達障害の方等と接触がないもので、特に関心がなかったが、今後役に立つ講師の話を聞いた気がした。
- 症状名で理解しようしない本人の困り感を理解する。
- 本人にも「なぜそうなるのか」さっぱり判らない。ずっとほめられなかったら、その行動は消えてしまう。急な指示は禁物。
- 人を比べるのでない、どの人も大切ということは研修の最後に言われさらに深く考えさせられた。
- 人と人とのつながりでの地域づくりの大切さ。
- 現症面だけで判断しがちである。見立てや診断をするのではなく、身近なサポートを。支援する者、される者の関わり・まなざしでは続かない。
- 発達障害は本人の特性。
- 「関わることで、学びあう」パワーポイントにうつつた言葉です。関わることで、支援する側、発達障害の方、お互いに成長していく、良い言葉だなと感じました。
- 支援する側の気持ちの持ち方と接し方の大切さが必要。
- 人と人とのつながりを信じられる地域づくりが基本。
- 生まれてくれてありがとう 生きててくれてありがとう 出会ってくれてありがとう 固定観念を持たない。
- ありがとう
- 病気の分類ではなく、今困っていること、その人とよく関わる、しっかり見る事が大事。その事によって支援方法が変わってくること。
- 「これまで」をねぎらい「これから」の希望を抱く
- 発達障害をもっている子の、見方、聞こえ方、しんどさ。
- 最後の絵本、すてきでした。
- 目に見える障害はよく分かるが、見えないものは分かりにくい。お互いに支え合っていけるよう、ということばが印

象に残りました。

- ありがとう
- 話の内容は、良く理解できる言葉でよかった。
- 障害には、境が明確でないこと。
- 疑似体験はとてもわかりやすかった。“うまれてくれて ありがとう 生きていてくれて ありがとう 出会ってくれて ありがとう”
- ADHD、アスペルガー、自閉症…。症状名で関わるのは意味がない。困り感に気づき、手立てを見つけることが大切。
- 生まれてくれてありがとう 生きていてくれてありがとう 出会ってくれてありがとう。
- 合理的配慮
- 先入観によって困り感が伝わらないということを聞き、私たちの生活の中で意外と先入観というものが多いということが分かりました。

研修で気づいたこと・学んだこと

- 解りやすく話されたので良く理解できた。仕事につなげればと思っています。今まで利用者様にすまない事だったと思った次第です。
- 接し方のポイントについて話されていた。なかなか気づきにくかった点についても改めて気づかされた。また、障害者への配慮などについてもあらためて思い知らされました。
- 発達障害の人の見え方、聞こえ方、書き方、感じ方などを疑似体験する中で、本人の苦労はものすごいものがあるとわかった。今も子どもに関わる仕事をしているのでもっともっと勉強して少しでもストレスを軽減できる方法を模索したい。気になる子の尺度で物事をすすめる対応を心がけたい。
- 発達障害の、見え方、聞こえ方、書き方の疑似体験。現時点では不明(内容が判りやすかったです)
- 人は見た目で判断してはいけないなと思った。
- 発達障害で見るのではなく、何に困りしんどさを抱えているのか、見て感じることでよりそえていけたらと思いました。
- 仕事では、子ども達への支援等を考えることが多いので、その子たちの 20 年後も、笑顔で生活できるには、地域の人たちの理解・支援が大切だと思います。
- 行政の職員としてではなく、一人の人間として、一人の母親として、どのようにすべきか改めて考えたいと思います。
- 子の思いや姿をどうまわりの大人たちがどう見るか、受けとめるか、とても重要になるように思います。その子の個性と捉え、集団生活を送ってくれることを強く願っています。就学前教育、義務教育等々指導者の方、研修を深めていただきますよう。自己肯定、自尊感情の育ちを促す関わりを。
- 「発達障害を体験する」ということで、鏡文字などを実際に初めて読みました。素直に読もうとしましたが、「読みたくない」という気持ちになりました。他にも「聞こえ方」「書き方」を体験し、発達障害の人の目線で考えることができました。実際に体験することで、書く時には「こうしてほしい」とか思ったこと感じたことは、発達障害の人が実際に日常生活の中で思っていることなので、私たちがその手を差し伸べていきたいと思いました。
- 発達障害のある子供を、周囲・環境がどの様に理解ができるかが課題になる。
- 私は当事者で、そして支援者として両方の立場として広めていけたらいいなあとと思いました。

- 本人、その家族含め、地域、周りの人もその子を知るためにいろいろな勉強をしないといけないなと思った。
- 疑似体験して、当事者に少し近づけた。
- 発達障害について、対応の手段よりも、自分自身または個人が見の目を持って見守る必要性を学んだと思います。
- 周囲に発達障害のお子さんはいないんですが、「早くしなさい、まだ出来ないの、何してるの」という様な言葉は普段から使わないようにしようと思いました。
- 具体的に発達障害がどんな子であるのか知りたかった。疑似体験はよい体験になりました。
- 先入観や価値観(今まで生活し、体験したこと)だけで判断すると、相手の本当の姿が見えなくなり相手の求める支援に気づかないことがある。
- 発達障害については学びながら、少しずつ理解していっていると思っていながら、「手を見る」という体験で「先入観」という見方を改めて見直せた気がします。学びながらも、基本の地点を見直す事が大切だと思いました。
- 障害名から本人を理解するのではなく、その人が生きて来た過程においてのしんどさ、生きづらさを理解し、支援を行うようにします。
- 保育所に持ち帰り、全職員に伝え、発達障害児に対する支援について活かしていきたい。
- 発達障害の人の見え方、聞こえ方などが具体的にわかりよかった。
- 一人の個性として、受け入れていける世の中になっていくよう心がけてほしいと思います。
- 発達障害をしっかりと理解することの大切さと、障害者を地域で守り支える取り組み方。
- 心、体の病気の有るという事、身近にいるので良く分かりました。
- 発達障害者に対して変な目で見ることなく全員で協力しあって、地域、グループ全体で守っていく方向に向かえば良いと思いました。
- 人材教育においても共感できることが多くありました。今後の人材教育に少しでも役立てればと思います。
- 私の娘も大人になりましたが、発達障害をもっています。子育ての中で「知っているのに」娘の自尊感情を傷つけてきた事がたくさんあったのだと思います。「助かった?」「頑張ったよ」と言う言葉を生活の中でよく使います。ほめてもらいたいのですよね。自分を認めてほしいのですよね。反省です。
- 今ここをしっかりとみて、見え方、感じ方など本人の困り感を探していく(感じて)それからどう支援していくかを考えたい。
- 保育現場で、子どもの現象のみでとらえるのではなく、一人ひとりに寄り添って関わること。困っていることは何かを明確にして支援していけるようにしたい。
- 障害者の症状にもいろんなパターンがあり、それぞれに対してのきめ細やかな対応が必要であると改めて感じました。先入観を持たずに対応していきたいと思います。
- 発達障害の人の実際に聞こえる環境を体験でき、相手の立場を知ることの重要性を改めて感じました。
- 5才、男児の母です。低緊張の子です。筋肉が未発達です。例)折り紙、手先が不器用で、まっすぐ角を合わせて折れません。先生のお話で「軍手を2枚して・・・」という例え、分かりやすかったです。我が子の困り感より、早くしなさい、きちんとしなさい、ばかり言う自分自身、反省しました。
- 今まで解決できなかった事の本質を少し見たような気です。十分注意して実行していきたいと思います。
- 実際に体験させていただくことで、当たり前前が当たり前ではないということ、難しさを実感しました。その子には、その子に合った環境、スピードで活動することができれば良いなと思います。これはできないからといってやらないのではなく、くり返しやっていくことも大事ななと感じました。

講師へのメッセージ

- 今後もお話しを聞かせていただきたいと思います。今日はありがとうございました。
- 発達障害の子、家族を支え、地域で関わり合える、出会い、つながり合い、学び合い、の生まれる地域づくりの大切さを感じました。今日の講話を参考に自分のできることを模索していきます。ありがとうございました。
- 今後の活躍を期待しております。大変判りやすい講演でした。
- パワーポイントを使用してお話しだったので、聞くだけでなく文字を見て読むことができたので良かった。
- 分かり易く、実際も体験できました。ありがとうございました。
- とても心強い研修でした。ありがとうございました。
- 講演ありがとうございました。
- アイラブユー アイラブユー 大阪弁なまりの絵本読みほっとします。おだやかでゆっくり・・・ほっとしました。孫(3才)への読み聞かせさらに続けていきたいです。
- 「生まれてきてくれてありがとう 生きていてくれてありがとう 出会ってくれてありがとう」この言葉をきいて、とても良い気持ちになりました。辛いことがあったときには、この言葉を思い出して頑張ろうと思います。ありがとうございました。
- 子供の未来に向けて頑張ってください。
- 話の間が良かったのでわかりやすかったです。
- 仏門からの活動に結びつけておられるのか？
- 今までに受けたことのない研修で、引き込まれる内容のものでした。ぜひ清風会でも研修をしていただきたいと思います。
- 心にしみるお話しでした。1つでも、2つでもしっかり職員に伝えられればと思います。
- おだやかに、そして熱心に活動されている姿すてきです。
- 今、成長してしんどい子もたくさんいます。家族で抱え込まず、いろいろな支援の場があるというのはとてもいいことだと思います。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- 分かり易いお話しでとても勉強になりました。
- とてもわかりやすくお話しをいただいた。
- 大変良かったと思います。私たちも年齢を重ねていくにつれ外部とのつながりについて考える所があり勉強になりました。ありがとうございました。
- ありがとうございました。
- 眠くなる時間帯ですが、分かり易く、引き込まれる話でした。絵本もとてもよかったです。
- とてもわかりやすい講義で、学べて良かったと思います。ありがとうございました。
- 具体的な支援方法とデジカメで撮っていただいても良いとの事でしたが、できたらレジメに記載していただければ良かったと思います。非常に勉強になりました。
- 「ラブユーフォーエバー」の読み終わり、ステキでした。命、愛は、時代を越えてつながりますね。
- 知りたかったこと、メモしたかったことが、画面が早くかわってしまって、スマホもカメラも持ってきてなかったのが、残すことができなくて残念でした。
- 疑似体験をさせていただき、とてもわかりやすかったです。絵本の読み聞かせをきかせていただき、子どもが成長していくようになって愛しているということを伝える姿がとても感動しました。最後には子どもが母に対して気持ち

を伝える場面は本当にとっても良かったです。